

平成30年度 第1回理事会 議事録

平成30年4月14日(土)~15日(日)

神奈川県川崎市 法政第二中・高等学校 会議室

○出席者

早川 副部長、中梶 理事長、中田 副理事長、河田 常任理事、高畑 常任理事、
大野 常任理事、月成 常任理事、島田 理事、平葭 理事、山本 理事、堤谷 理事、
塚崎 理事、田中 理事、阿部 事務局長

理事出席が2/3以上により会成立定数を満たし、理事会が成立

1. 協議事項

(1) 平成29年度専門部決算・事業報告について

○決算報告

- ・専門委員長会議以降の選抜、合宿、表彰トロフィ等への予算執行
→承認

○事業報告

- ・選抜大会まで含めた事業報告
→承認

(2) 平成30年度専門部予算・事業計画について

○予算

- ・専門委員長会議での予算承認から変更なし。ただし、表彰にかかる費用が未知数であるが予備費で対応にあてる。
→承認

○事業計画

- ・専門委員長会議での案からブロック大会等の日程変更、責任者変更あり。
- ・平成30年度選抜大会についてこののち審議する。
→承認

(3) 平成29年度全国高等学校選抜自転車競技大会について

○総務部会より

- ・選抜事故件数について
- ・選抜試走の交通マナー、前日の駐車場場所取り等、参加者のモラル・マナーに残念な事例が見られた。
- ・PDFにして申込。データ処理としてはスムーズであったが原本提出漏れがみられた。
- ・総合表彰について欠席がみられた(女子)表彰にロードへ出場しないために帰ってしまった。表彰への出席をお願いしたい。参加者の責務。
- ・優勝旗の劣化が見られた。更新の必要性がある。
- ・崇城大学のSCB放送局で記録している。今後、広報部会で映像記録等を検討してはどうか。
- ・医健専門学校の協力により落車等の対応がスムーズでよかった。大変ありがたいサポートで今後ともご協力いただきたく思う。

→承認

(4) 平成30年度全国高等学校選抜自転車競技大会について

○中田選抜大会担当より

- ・熊本市が開催返上のため北九州市と開催を調整してきた。トラックについてはメディアドームで実施する。ロードについては北九州市で運営することが様々な事情で難しい。北九州市が行政負担金を支出するが、別会場を検討してほしい。

●意見・協議

- ・広島森林公園はいかがか？
→会場としては申し分ないが、移動距離が発生する。宿泊が分散する。
- ・大分オートポリス
→会場として申し分ないが、時期的に濃霧の可能性が高い。濃霧の場合視界がほぼなくなる。
- ・熊本五木村
→移動距離が発生する。大会開催実績(九州チャレンジ)があり運営について心配はない。行政も非常に手厚いご協力をいただいている。宿泊キャパも問題ない。

◎結果

『熊本県五木村で開催する方向。行政負担金は北九州市が協力する』

→承認

○日程について

21日開会式・トラック 13:00～17:35 ポイント予選

22日トラック ポイント決勝 TT 決勝 ケイリン準決勝

23日トラック ～ 10:30

24日ロード

23日トラックを午前中(10時30頃)までに終了しロード移動時間等を確保してはどうか。

→継続検討

○ロード競技について

- ・ロード80km程度の予定
- ・オープニングロードも実施予定

→継続検討

●意見

- ・女子トラック1種目にしてはどうか?種目の見直しの必要性 参加選手の見直し
- ・男子同様にしていく。種目数、タイム制限による出場制限等

→継続検討

(5) 平成30年度全国高等学校総合体育大会自転車競技(静岡インターハイ)について

○山本大会担当より

- ・一般駐車場位置の変更(3kmサーキットシャトルではなく会場に直接駐車場を設定)
- ・バンク内にローラーをおかない。ローラー場ですべてアップ終了
- ・ロードはスレートバイクなし、定点でタイムギャップを周知する。
- ・補給場所について関東の理事、部会員を中心に検討をする。

○高畑競技運営部会長より

- ・333mバンクのTP予選について特別規則をもうけたい。ホームバック同時発送とするが、最終4組は単独発送としたい。

→承認

○河田総務部会長より

- ・女子の参加決定の流れについての再確認

(6) 平成31年度全国高等学校総合体育大会自転車競技（沖縄インターハイ）について

○島田大会担当より

開会式：名護

トラック：北中城

ロード：名護（ツールド沖縄のコースとは異なる）

- ・視察を11月下旬に2泊3日で行う。

→承認および継続検討

(7) 平成32年度全国高等学校総合体育大会自転車競技（北関東代替えインターハイ）について

○中梶理事長より

トラック：内灘 内定

ロード：志賀町 内定（宿泊：ロイヤルホテル能登）

- ・本決定はバスケットボールまち

→承認

(8) 平成31年度から33年度全国高等学校選抜自転車競技大会について

○平成31年度から平成32年度選抜大会について

北九州市が行政多忙（ラグビーワールドカップ、オリンピック練習地誘致等）である。平成31年度からの公募いただいているが平成30年度と同様の運営となる可能性がある。

- ・選抜、開催地について再度検討する必要がある。
- ・平成32年度以降選抜開催意向地あり

→継続検討

(9) 各部会より

『総務部会』

○登録について

- ・機材規制アンケート追加
- ・学校職員、外部指導者、部活動指導員等の身分登録
- ・前年度同様、データについて新入生の登録番号なし、原本には記載。

- ・登録専用メールアドレスをつくる。hs.cycling.touroku@gmail.com
- ・学校職員、部活動指導員のみ引率責任者となる。外部指導者は不可である。
- ・今後、学校職員以外へは資格保持を求める
(日本スポーツ協会自転車競技上級コーチ、コーチ、指導員)
(JCF 審判員、チームアテンダント)

→承認

○協賛について

- ・クレーマージャパン様の協賛を受け入れる
- ・協賛規定を明確にしていく

→承認

『競技運営部会』

○静岡インターハイについて

- ・TPの予選方式 最終4組は単独発送
- ・審判長：高畑競技運営部会長

『強化育成部会』

○【日韓親善事業】第1回日韓高等学校対抗自転車競技大会（仮）

- ・事前合宿 10月26日から28日予定（大会は11月3日、4日）
男子7名 女子7名 スタッフ6名
- ・インターハイ、選抜、国体などの実績により選抜する。
- ・ジャージについて高体連で作成する（クレーマージャパン様より支給予定）

●意見

- ・事前合宿予算が厳しいが開催に向けて努力する。

→承認

○全国女子合宿について

- ・12月開催予定だが伊豆ペロドロームが改修になるかもしれない。代替え地を検討。
- ・選考は各ブロックより3名ずつ（ブロック合宿より選考）

→承認

○ジャパンカップ2018・ホープフル・クリテリウム

- ・10月20日開催予定
- ・チャレンジレース、オープンレース等への参加ができるスケジュールとする。
- ・事務局で総体上位者より選考する。

→承認

(10) その他

○ブロック合宿への補助金配分について

○機材規制検討委員会

岡本健（和歌山県）座長 理事長 三役 事務局長 ブロック代表
とする。ブロック代表について今後検討

○選抜配宿について

配宿を必ず利用するように指定していた期間内でも配宿を通さなかった学校があった。受益者負担の大会開催費用としての側面もある。本年度はそのようなことがないようにお願いしたい。

○ステージレースについて

- ・高体連主導でステージレースの復活をさせてはどうか。
- ・ツール・ド・九州を実現に向けて進めたい。

○車両の部活動利用について

公用車、自家用車の部活動利用について、運営、生徒の乗車、機材運搬などについて都道府県、学校ごとの運営実態調査が必要

○ロード下見のモラルとマナー向上について

- ・ロードの下見についてチームジャージを着用し身分を明らかにして練習をしてはどうか。
- ・伴走車に学校名を表示させてはどうか。
- ・ロードの試走時間を指定し、コース等でその時間内を巡回警備してはどうか。
- ・下見の受付等

集団心理に流されず、監督・選手の行動でレースができない状況になりかねないことを念頭に置いて行動してほしい。